

常盤台一・二丁目町会マンスリー

2022年10月号 No.34 Facebook: 常盤台一二丁目町会

TEL/FAX: 03-3969-8121 会長 岩崎 忠雄

例祭 9/25…天候に恵まれ3年ぶりの神輿宮出し

例祭前日24日は、台風15号に伴い前日夜から朝にかけて静岡県を中心に記録的な大雨。東京も夕刻までにわか雨。しかし、同日中に熱帯低気圧に変化。

当日25日(日)は、午前9時より夕刻までまばゆい日差しの快晴に恵まれ、絶好の祭り日和となりました。

町会有志は、8:45に町会事務所に集合、9時より神輿組立て、11時より御霊入れがおこなわれました。午後1時より神幸祭が執り行われました。(写真右上)

その後、天祖神社で神輿宮出し(写真右2番目)、踏切をわたりロータリーを一周(写真右3番目)。その後、トラックに神輿をのせて町内を周回しました。

クリーン作戦のお知らせ 🌧️💧💧

11月6日(日)板橋区クリーン作戦(ゴミ拾い)朝9時町会事務所集合です。よろしくお願いいたします。



神幸祭の様様



神輿宮出し





宮出しに参加した町会有志
ときわ台駅ロータリーにて

中秋の名月に思う

2022年の中秋の名月は、9月10日でした。写真は、常盤台の夜空に写し出されたもの。“中秋の名月”は、太陰太陽暦の8月15日の夜に見える月のこと。

異常気象が続く。地球はいったいどうなっているのだろう。そのような不安の中で見る事ができた。ほっとする。



月は洋の東西を問わず、人々の心を魅了してきた。音楽、文学など様々な芸術、芸能で扱われている。思い浮かぶだけでも、ベートーヴェン“月光”、ドビュッシー“月の光”は心を癒すすばらしい曲だ。滝廉太郎の「荒城の月」は、哀愁を感じさせる何とも言えない美しいメロディーだ。

百人一首の歌人である崇徳院に、次のようなすばらしい歌がある。

“見る人に 物のあはれをしらすれば
月やこの世の鏡なるらむ”

(K.N.)